



## 平成26年度(2014)秋季地区予選

I (希望ヶ丘)	希望ヶ丘	舞岡	横浜翠陵	金沢総合	勝点	得失	順位
希望ヶ丘		2-4	7-9	10-5	3	1	3
舞岡	4-2		9-12	4-0	6	3	2
横浜翠陵	9-7	12-9		5-9	6	1	1
金沢総合	5-10	0-4	9-5		3	-5	4



## 平成27年度(2015)春季地区予選

M (希望ヶ丘)	希望ヶ丘	横浜翠陵	松陽	岸根	勝点	得失	順位
希望ヶ丘		6-1	6-8	5-13	3	-5	4
横浜翠陵	1-6		10-7	3-2	6	-1	1
松陽	8-6	7-10		2-1	6	0	2
岸根	13-5	2-3	1-2		3	6	3



## 第97回全国高校野球選手権神奈川大会

【1回戦】12日大和スタジアム

希望ヶ丘 001 001 100 | 3

関東学院 002 020 00X | 4

(希) 鶴見-早川

(関) 大阪-野口

▽本塁打 佐藤貴(関)

▽三塁打 花岡(関)

▽二塁打 佐藤貴(関) 浅原(希)

▽犠打 希4(坂本2、早川、小林) 関2(鈴木、関口)

▽盗塁 希1(浅原) 関4(鈴木2、佐藤貴、花岡)

▽失策 希1(土肥) 関1(花岡)

▽暴投 大阪2(関)

## 「野球部3年間の思い出」

K68 浅原和貴

この度は、希望ヶ丘高校野球部の創立120周年を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。さて、我々選手マネージャーが希望ヶ丘高校野球部に在籍致したのは平成から26年から、29年の3年間になります。すでに遠い昔の思い出になってしまいましたが、以下、我々選手マネージャーが書いた思い出を紹介させていただきます。

練習では切磋琢磨しあい、どんな辛い時でもお互いを励まし合いながらトレーニングを行い、成長することができました。選手

秋の大会、大雨の中、希望ヶ丘グラウンドで泥まみれになりながら延長戦を最後まで戦った。あの日ほどサードに打球が飛んでくるなど切に願った日はないだろう。選手

用具の準備に補修、スコアやアナウンス、会計や買い出し、冷凍庫と戦い土木作業、、、気づけば握力は35キロになり、冬の雪かきのしすぎで腰痛持ちに。そんな私も最後の夏大では、スタンドで誰より泣きました。野球部のことを常に考えていた3年間でした。マネージャー

一度も夏の大会で勝利を見たことがないまま、自分たちの代となった。先輩たちの思いも受け継いで、負けた悔しさを晴らすために朝から晩まで一生懸命練習した。向かえた夏の大会、初戦は前回負けた相手だった。3年間の全てをかけて戦ったが、勝てなかった。その時は、この3年間が無駄だったと思った。しかし、思い返すと、同じ目標をもち、互いに高め合った野球部としての3年間はかけがえのない、すばらしい時間だった。卒業後、時間が経てば会うことが難しい人も多くなる。だけど、僕は仲間と過ごしたこの3年間は一生忘れない。選手

主将に任命され、どうにか結果を出したかった。その焦りが、誤った方向に行ってしまうていた。しかし、それを気付かせ、支えてくれたのは後輩を含め、部員たちであった。今でも、夏になると「主将として、こう引っ張ればよかったのかな」とふと思うがある。それくらい主将として熱中できた1年間だった。また、僕らの代は、「性格が優しすぎる」という課題があった。これは勝負においては欠点で、何度もミーティングで話し合った。しかし、「優しい」からこそ、みなから愛された野球部だったと思う。最後の夏の大会、第一試合と早い時間帯にも関わらず、スタンドに多くの同級生がいてくれたことを昨日のように覚えている。これもみな部員の「優しさ」のおかげである。助けられた1年間だった。そして、このような素晴らしい野球部を残して頂いたOB・OGの皆様にも感謝を申し上げます。

以上、未筆ながら、希望ヶ丘高校野球部の一層のご発展と皆様方のご活躍を祈念致しまして、お祝いの言葉とさせていただきます。